

6.2 V10/V9 本体の IP アドレス設定

Ethernet 機能を使用する場合、IP アドレスの設定が必要です。V10/V9 の IP アドレスは、画面データで設定する方法と、本体で設定する方法の 2 通りあります。

6.2.1 画面データによる設定

画面データで IP アドレスを設定します。

1. [システム設定] → [Ethernet 通信] → [自局アドレス] をクリックします。[IP アドレス設定] ダイアログが表示されます。
2. [IP 設定を行う] にチェックを入れて、各項目を設定します。



項目	内容
IP アドレスをネットワークテーブルから選択する	V10/V9 の IP アドレスがネットワークテーブルに登録済みの場合有効です。ネットワークテーブル No. 0 ~ 255 から IP アドレスを選択します。
IP アドレス*	V10/V9 の IP アドレスを設定します。
デフォルトゲートウェイ*	デフォルトゲートウェイを設定します。
サブネットマスク*	サブネットマスクを設定します。 チェックなしの場合、自動的に IP アドレスの第 1 アドレスの値を判断した上で動作します。 IP アドレスが「172.16.200.185」の場合は、「255.255.0.0」で動作 IP アドレスが「192.168.1.185」の場合は、「255.255.255.0」で動作
ポート No.*	ポート No. 1024 ~ 65535 を設定します。8001 を除く
送信タイムアウト時間	マクロコマンド EREAD/EWRITE/SEND/MES や Ethernet DLL 関数を送信する際のタイムアウト時間を設定します。
リトライ回数	0 ~ 255 回 タイムアウト発生時のリトライ回数を設定します。
デバイスプロテクト 内部デバイス メモ리카ードデバイス	パソコンや、他局からの書込を禁止する場合にチェックします。

* 各項目の詳細については、P 6-6 を参照してください。

3. [OK] をクリックします。
4. 画面データを本体に転送します。
5. 本体のローカル画面で IP アドレスを確認します。

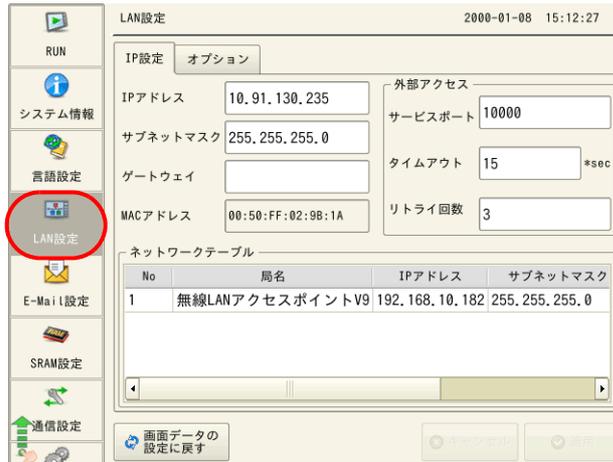
6.2.2 本体「ローカル画面」による設定

本体の [ローカル画面] で IP アドレスを設定します。

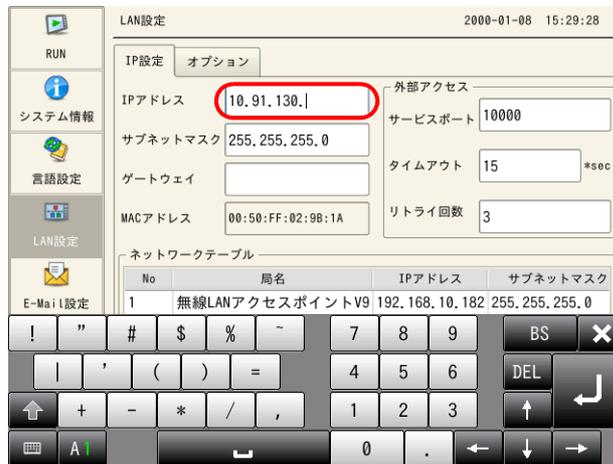
1. 本体の [SYSTEM] ボタンを押して、画面上部に [システムメニュー] を表示します。



2. [システムメニュー] の [ローカルモード] を押します。本体の [システム画面] が表示されます。
3. 画面左に並んだ [LAN 設定] スイッチを押して、[IP 設定] 画面を表示します。
LAN2/WLAN 使用時は、各設定スイッチの [IP 設定] を表示します。



4. 各項目をタッチして、設定値を変更します。
- [IP 設定]



項目	内容	
IP アドレス ^{*1} ^{*2}	V10/V9 の IP アドレスを設定します。	
サブネットマスク ^{*1} ^{*2}	サブネットマスクを設定します。	
ゲートウェイ ^{*1} ^{*2} ^{*3}	ゲートウェイを設定します。E-Mail 送信する場合は、必ず設定します。	
外部アクセス	サービスポート ^{*1}	ポート No. 1024 ~ 65535 を設定します。8001 を除く
	タイムアウト	マクロコマンド EREAD/EWRITE/SEND/MES や Ethernet DLL 関数を送信する際のタイムアウト時間を設定します。
	リトライ回数	0 ~ 255 回 タイムアウト発生時のリトライ回数を設定します。

*1 各項目の詳細については、P 6-6 を参照してください。

*2 [オプション] で [自動 (DHCP)] を選択時は変更できません。

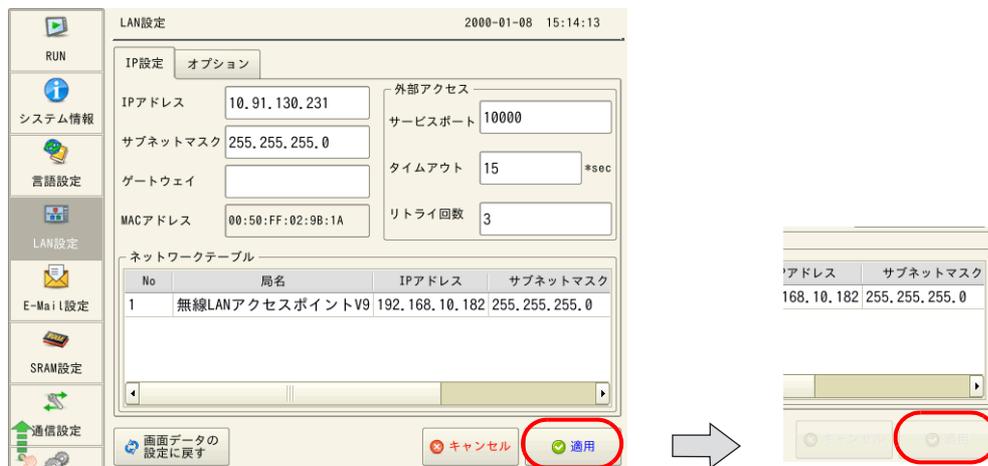
*3 ゲートウェイは、[LAN 設定] / [LAN2 設定] / [WLAN 設定] / [LAN ユニット設定] のいずれか 1 つのみ設定してください。2 つ以上ゲートウェイを設定していると、正常に動作しません。

- [オプション]

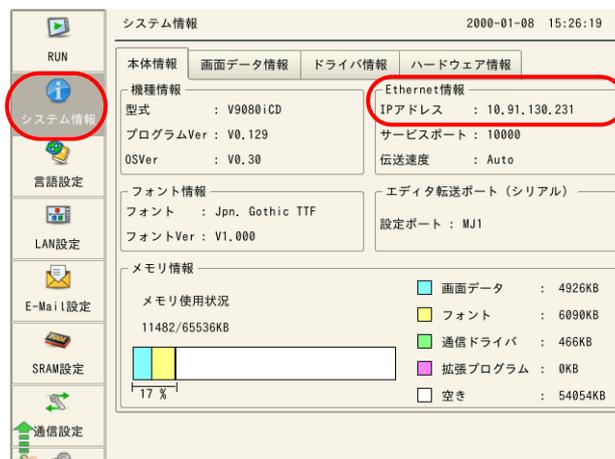


項目	内容
速度	通信速度を設定します。 Auto : Auto-Negotiation 10Base : 10Base-T 固定
IP アドレス設定方法	IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイ・DNS の設定方法を設定します。 手動 : [IP 設定] で設定 自動 (DHCP) : DHCP サーバからインターネット接続に必要な情報を自動取得
DNS 設定	DNS を設定します。 [E-Mail 設定] で [送信メールサーバ (SMTP)] を選択した場合は、必ず DNS1 を設定します。 IP アドレスを「自動 (DHCP)」で設定した場合、DNS も自動設定されます。

5. 画面右下の [適用] スイッチを押して終了します。変更完了すると [適用] スイッチが非表示になります。



6. ローカル画面の [システム情報] → [Ethernet 情報] で IP アドレスを確認します。



画面データの設定に戻す

[LAN 設定] 画面下に [画面データの設定に戻す] スイッチがあります。

このスイッチを押すと、[ローカル画面] で設定した IP アドレス他は無効になり、画面データで設定した値に戻ります。

The screenshot shows the LAN configuration interface. The left sidebar contains navigation icons for RUN, システム情報, 言語設定, LAN設定, E-Mail設定, SRAM設定, and 通信設定. The main area is titled 'LAN設定' and includes a date/time display '2000-01-08 15:14:13'. It has two tabs: 'IP設定' and 'オプション'. The 'IP設定' tab is active, showing fields for IPアドレス (10.91.130.231), サブネットマスク (255.255.255.0), ゲートウェイ, and MACアドレス (00:50:FF:02:9B:1A). The 'オプション' tab is also visible, showing fields for 外部アクセス (サービスポート: 10000), タイムアウト (15 *sec), and リトライ回数 (3). Below these is a 'ネットワークテーブル' section with a table containing one entry: No. 1, 局名: 無線LANアクセスポイントV9, IPアドレス: 192.168.10.182, サブネットマスク: 255.255.255.0. At the bottom, there are buttons for 'キャンセル' and '適用', and a button labeled '画面データの設定に戻す' which is circled in red.

No	局名	IPアドレス	サブネットマスク
1	無線LANアクセスポイントV9	192.168.10.182	255.255.255.0